第38期(2013年3月期) 決算説明会

UJV500-160



UJF-6042



Tx500-1800DS



株式会社 ミマキエンジニアリング JASDAQ 証券コード:6638





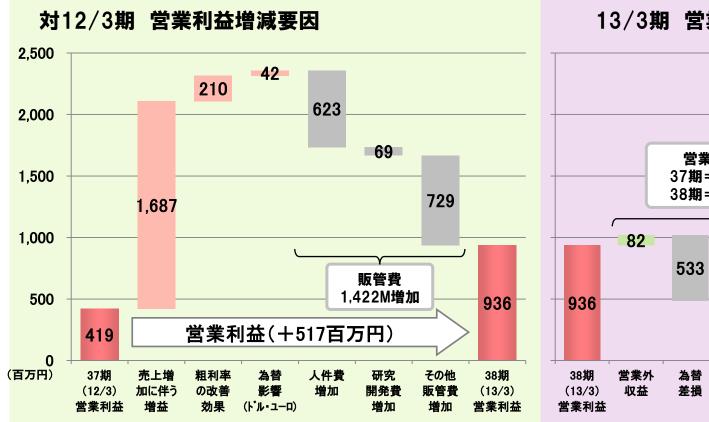
- ❖2013年3月期連結業績
- ❖2014年3月期連結業績予想
- ◇中長期戦略
- ☆ご参考資料

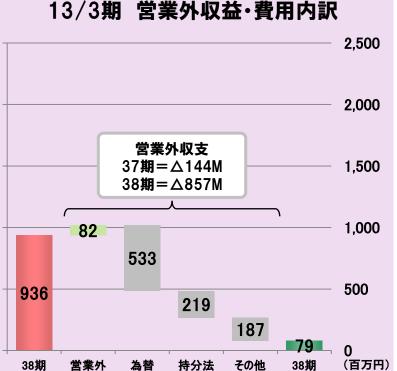


連結業績ハイライト

				37期(1	2/3)		38期	(13/3)	(13/3)			
			中结		中结		前期対比					
		(百万	7円)	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率			
売		上	高	26,876	-	31,090	-	4,213	15.7%			
		売上総	利益	10,873	40.5%	12,813	41.2%	1,940	17.8%			
		販;	管費	10,454	38.9%	11,877	38.2%	1,422	13.6%			
営	業	利	益	419	1.6%	936	3.0%	517	123.5%			
		営業外	収益	118	0.4%	82	0.3%	∆36	△30.7%			
		営業外	費用	263	1.0%	939	3.0%	676	256.5%			
経	常	利	益	274	1.0%	79	0.3%	△194	△71.0%			
		特別	利益	102	0.4%	22	0.1%	△79	△78.2%			
		特別	損失	0	0.0%	4	0.0%	3	765.5%			
当	期	純 利	益	214	0.8%	132	0.4%	∆81	△38.1%			
為替レート(期中平均)												
米		K	ル		79.08円		83.11円					
ュ		_	П		108.97円		107.15円					

利益增減要因





販管費について

- 人員増加により人件費が623M増加 (37期末=947名 → 38期末=1,065名)
- 売上増加により運搬費、製品補修費、販売 促進費等のその他販管費も増加

営業外費用について

• 為替予約等による為替差損533Mを計上 ※前期は48Mの為替差益

投資損失

(インド)

営業外

費用

(13/3)

経常利益

• インド販売子会社に対する持分法による 投資損失219Mを計上



機種群別売上高



	37期 (12/3)	38期(13/3)							
	実績	実績	構成比	前期	対比				
(百万円)	大限	天順	1円 ルベンロ	増減額	増減率				
SG市場向け	17,071	18,558	59.7%	1,487	8.7%				
IP市場向け	5,428	7,310	23.5%	1,882	34.7%				
TA市場向け	1,860	2,566	8.3%	706	38.0%				
保守部品	1,710	1,881	6.0%	171	10.0%				
その他	806	772	2.5%	∆34	Δ4.3%				
合 計	26,876	31,090	_	4,213	15.7%				

SG市場向け

• 既存エントリーモデルと新興国向け新製品が好調

IP市場向け

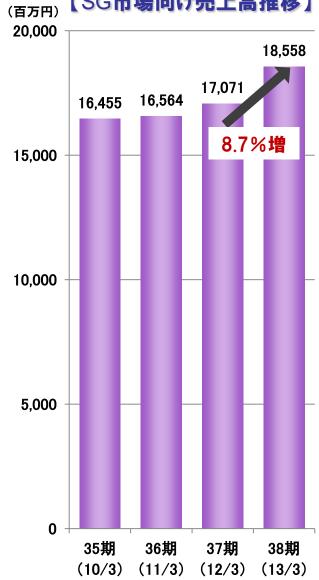
• スマートフォンの活況を背景に、スマートフォンカバーにプリントする需要が拡大。既存エントリーモデルのUJF-3042FX/HGの販売台数が大きく伸長

TA市場向け

• 既存昇華転写モデルのTSシリーズに加え、新製品500シリーズが売上増加に貢献

市場別レビュー SG(広告・看板)市場 Mimaki





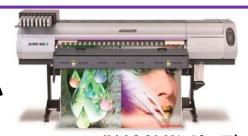
緩やかな市場成長が続く一方、グローバルなエコの流れから、 環境対応ニーズが高まる

- 主力製品であるJV33シリーズやCJV30 シリーズなどの既存エントリーモデルが堅 調に推移
 - ✓ 価格対応による新規顧客の獲得
 - ✓ 中国、ブラジルなどの新興国市場で 販売チャネルを拡大



JV33シリーズ

- 環境に優しい水性ラテックスインク搭 載の新製品JV400LXシリーズを発売
 - ✓ ソルベントインクではプリントできない 普通紙などへの多用途展開



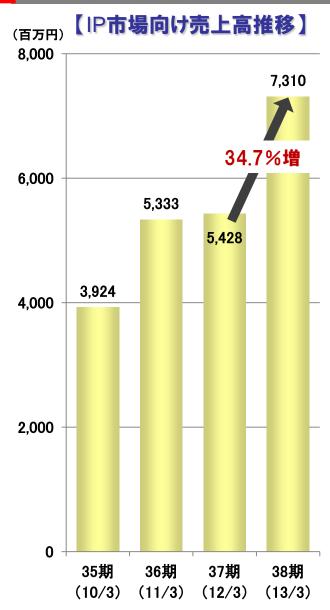
JV400LXシリーズ

- 新興国市場向けモデルの新製品 SWJ-320Sを発売
 - ✓ 3.2Mの大型サイズ、価格と 画質のバランスで独自のポ ジションを確保



SWJ-320S

市場別レビュー IP(産業用途)市場



必要なときに必要なだけ、というオンデマンド・プリントニーズ が顕在化

- スマートフォンの活況を背景にそのスマホカバーにプリントする需要が拡大
 - ✓ 国内外ともに好調に推移
 - ✓ 特に中国を始めとしたアジア地域で伸長
 - ✓ 競合がなくデファクトスタンダード



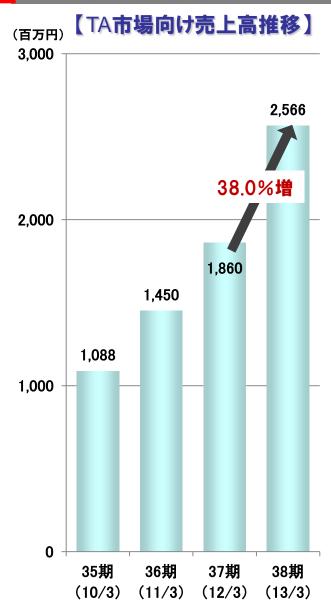
- UJF-3042HGの2倍(A2)サイズの上位 モデルUJF-6042を2012年12月投入
 - ✓ スクリーン印刷のリプレイス
 - ✓ 高画質により工業印刷分野に拡販



- 高速・高画質の500シリーズの新製品 JFX500-2131を発売
 - ✓ 2.1M×3.1Mの大型サイズ、 価格、画質、速度で独自の ポジションを確保



市場別レビュー TA(布地・衣類)市場



環境面、コスト面の観点からプリント後の洗い工程が不要な 昇華プリント方式が大きく伸長

- 昇華プリント方式のエントリーモデル TS34-1800Aの販売台数が大幅伸長
 - ✓特にアジア地域、東欧地域において、コスト・画質・速度のバランスの良さで需要を喚起



- ・ 成長性のある昇華プリント市場を狙って、5倍高速の500シリーズの昇華プリントモデルを2機種新発売
- ✓ TS500-1800



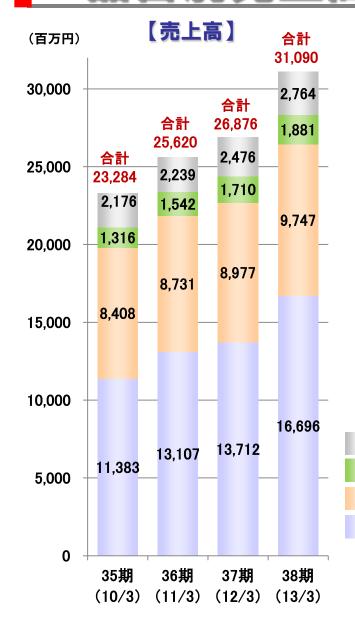
転写紙にプリントしてから ポリエステル生地に転写 √ Tx500-1800DS



ポリエステル生地に直接プリント



品目別売上高



	37期 (12/3)	38期(13/3)					
	実績	京结 携式比 前期対比					
(百万円)	天祖	実績	構成比	増減額	増減率		
製品本体	13,712	16,696	53.7%	2,984	21.8%		
インク	8,977	9,747	31.4%	769	8.6%		
保守部品	1,710	1,881	6.0%	171	10.0%		
その他	2,476	2,764	8.9%	287	11.6%		
合 計	26,876	31,090	_	4,213	15.7%		

製品本体

• SG、IP、TAの各市場で既存製品、新製品ともに 順調に拡大

インク

その他

インク

保守部品

製品本体

• 新製品投入効果も含め、堅調に推移



17.7%

17.3%

2.2%

(4.0%)

36.0%

19.6%

15.7%

0

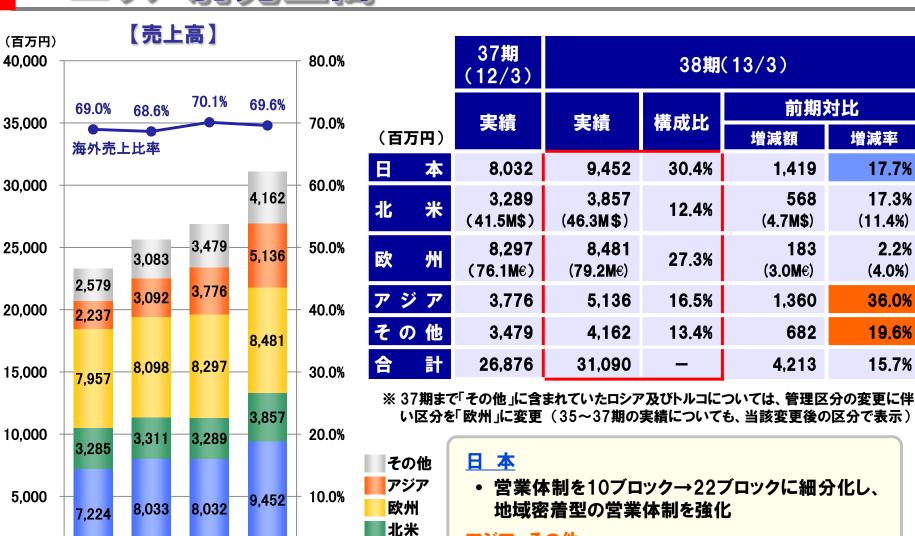
35期

(10/3)

36期

37期

(11/3) (12/3)



日本

0.0%

38期

(13/3)

営業体制を10ブロック→22ブロックに細分化し、

アジア、その他

• 新興国の販売子会社による地域密着型営業が成 果を出し、大幅に増収



要約貸借对照表

【資産の部】

	37期(12/3)	38	8期(13/3)	前期対比 増減額 増減率 △1,417 △28.5% 240 4.3% 2,971 39.6% 1,309 144.0% 3,104 16.4% 138 2.5% 62 22.1% 679 76.9%	
	実績	実績	前期	対比	
(百万円)	大祖	大根	増減額	増減率	
現 金 及 び 預 金	4,980	3,563	△1,417	△28.5%	
受取手形及び売掛金	5,579	5,819	240	4.3%	
たなり卸資を産	7,505	10,477	2,971	39.6%	
その他流動資産	910	2,220	1,309	144.0%	
流動資産合計	18,976	22,080	3,104	16.4%	
有 形 固 定 資 産	5,562	5,700	138	2.5%	
無形固定資産	285	348	62	22.1%	
投資その他の資産	882	1,561	679	76.9%	
固定資産合計	6,730	7,610	880	13.1%	
資 産 合 計	25,707	29,691	3,984	15.5%	

たな卸資産

- ·商品及び製品(+2.079M)
- ・原材料・仕掛品・貯蔵品 (+892M)

その他流動資産

- ·繰延税金資産(+554M)
- ·未収入金(+214M)
- ・貿易取引に係る前払税金 (+220M)
- ・貿易取引に係る保証金 (+205M)

有形固定資産

・工具、器具及び備品 (+250M)

投資その他の資産

·破産·更生債権等 (+853M)



要約貸借对照表

【負債・純資産の部】

	37期(12/3)	38	8期(13/3)	
	実績	実績	前期	対比
(百万円)	天祖	天祖	増減額	増減率
支払手形及び買掛金	6,221	6,894	672	10.8%
短期借入金· 1年内返済予定長期借入金	6,954	8,330	1,376	19.8%
その他流動負債	3,241	4,547	1,306	40.3%
流動負債合計	16,417	19,772	3,355	20.4%
長期借入金	2,317	2,546	229	9.9%
その他固定負債	820	877	56	7.0%
固定負債合計	3,138	3,423	285	9.1%
負 債 合 計	19,555	23,196	3,641	18.6%
純 資 産 合 計	6,151	6,495	343	5.6%
負 債 純 資 産 合 計	25,707	29,691	3,984	15.5%

借入金

- ·短期借入金 (+969M)
- ·1年内返済予定長期借入金 (+406M)

その他流動負債

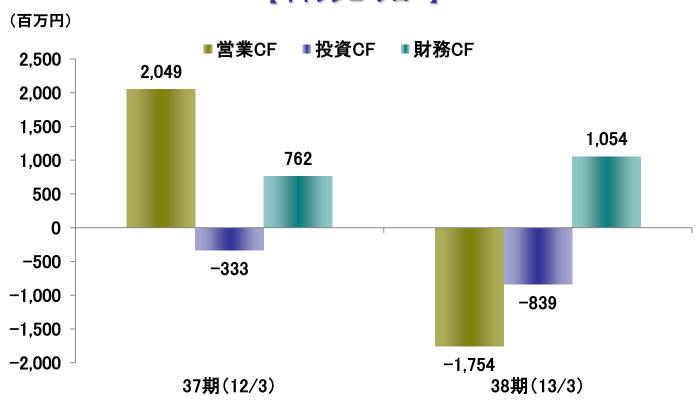
- ·単体為替予約 (+428M)
- ·前受金 (+298M)
- ·未払法人税等 (+280M)
- ·賞与引当金 (+134M)

純資産

- ·利益剰余金 (+39M)
- ·為替換算調整勘定 (+380M)

キャツシュ・フロー





38期キャッシュフローの状況

• 営業CF :(一)たな卸資産増加 2,741M、(+)減価償却費 1,182M

• 投資CF :(-)固定資産取得 859M

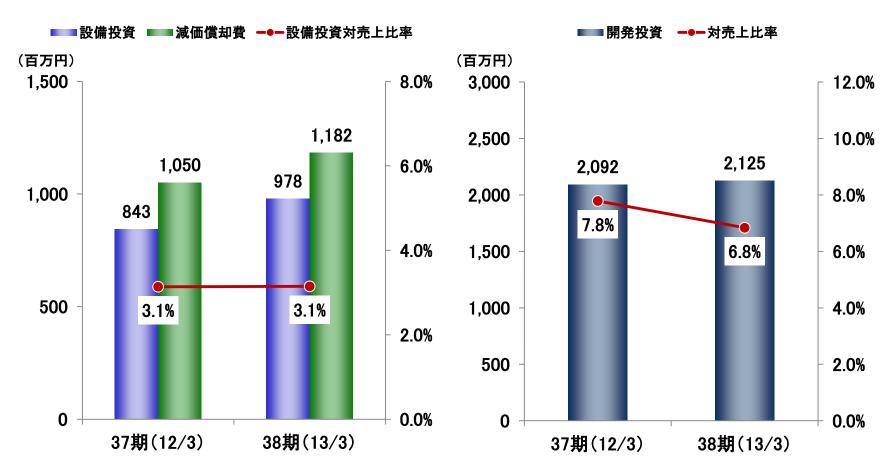
• 財務CF :(+)長期借入金増加 635M、短期借入金増加 632M



設備投資、減価償却、開発投資

【設備投資・減価償却費】

【開発投資】



※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれており、 販管費における「研究開発費」は、37期824百万円、38期894百万円です。



- ❖2013年3月期連結業績
- ❖2014年3月期連結業績予想
- ❖中長期戦略
- ☆ご参考資料

連結業績予想



	38期(13/3)		39期(14/3)					
	実績		通期				前期対比	
(百万円)	大帜	売上比	予想	売上比	上期	下期	増減額	増減率
売 上 高	31,090	_	35,000	_	17,200	17,800	3,909	12.6%
営 業 利 益	936	3.0%	1,225	3.5%	602	623	288	30.8%
経常利益	79	0.3%	916	2.6%	387	529	836	_
当期純利益	132	0.4%	549	1.6%	232	317	416	313.5%
前提為替レート				為替感师	芯度	<u>.</u>	急替レートが	
米ドル		83.11円	!	95.00円	米ド	ル 97		l円変動する ことによる
1 - 0	1	07.15円	12	20.00円	1 -	□ 62 1	5万円 3	営業利益へ D影響

売上高

- 38期に発売した500シリーズ等の新製品の販売増を見込む
- 製品本体の販売増に伴い、インク等の消耗品売上も増加見込み
- 成長性ある国に販売子会社を設立するなどグローバル展開を推進し、 販路拡大を強化

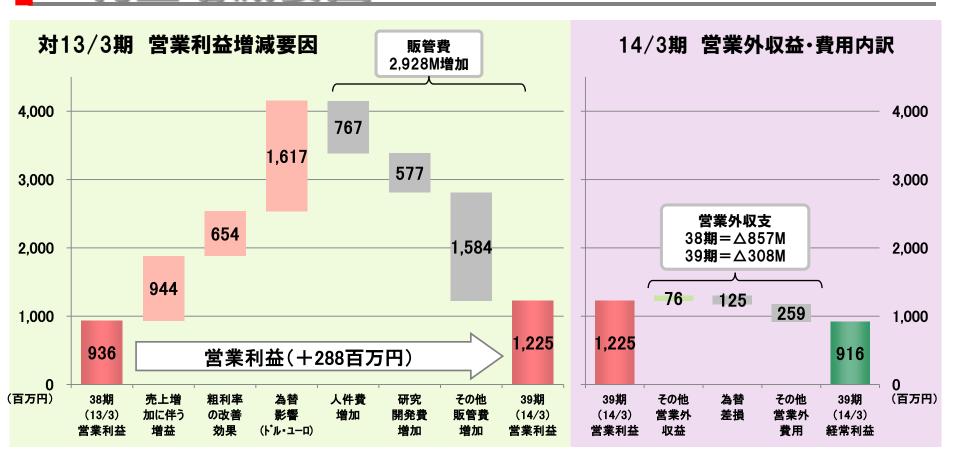
営業利益

- 生産・調達のグローバル化と在庫管理の適正化によりコストダウンを推進
- 新製品販売の早期立ち上げと、グローバル展開のため販売費の増加を 見込む

経常利益

• 38期の外貨建予定取引に係る為替差損(125M)を第一四半期に見込む

利益增減要因



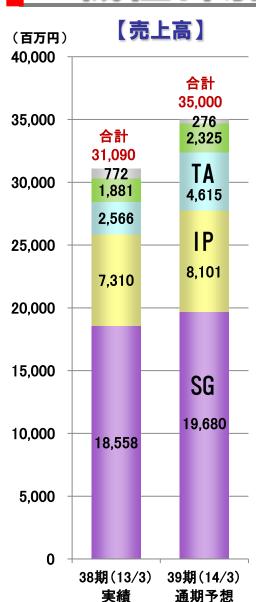
販管費について

- 営業・サービス等を中心とした人員増加により 人件費が767M増加
- 将来の強みとなる要素技術開発を強化

営業外費用について

外貨建予定取引に係る為替差損(125M)を 第一四半期に見込む

機種群別売上高予想



	38期(13/3)			39期(14/3)				
	実績	構成比	通期				前其	財比
(百万円)	大帆	149 1/2 1/0	予想	構成比	上期	下期	増減額	増減率
SG市場向け	18,558	59.7%	19,680	56.2%	9,688	9,991	1,121	6.0%
IP市場向け	7,310	23.5%	8,101	23.1%	3,978	4,123	791	10.8%
TA市場向け	2,566	8.3%	4,615	13.2%	2,270	2,345	2,048	79.8%
保守部品	1,881	6.0%	2,325	6.6%	1,126	1,199	443	23.6%
そ の 他	772	2.5%	276	0.8%	136	140	△495	Δ64.1%
合 計	31,090	-	35,000	_	17,200	17,800	3,909	12.6%

SG市場向け

- 環境面で強みのあるJV400LX、UJV500の販売立上げ
- 新興国市場向けのSWJ-320Sの拡販強化
- 主力エントリーモデルの既存製品のコストダウンを進め、価格競争力を強化

IP市場向け

- UJF-6042、JFX500で品揃えを充実させ、用途別の多展開を強化
- 製品だけでなく顧客に役立つソリューションも提供し、更なるシェアアップ

TA市場向け

500シリーズの本格販売で、中量生産以上の市場への拡販を強化し、 これに伴うインク販売を中心としたアフターマーケットビジネスを拡大



品目別売上高予想



39期(14/3)

通期予想

38期(13/3)

実績

-	38期(13/3)	39期(14/3)							
	d			通期				前期対比		
(百万円)	実績	構成比	予想	構成比	上期	下期	増減額	増減率		
製品本体	16,696	53.7%	19,675	56.2%	9,853	9,821	2,979	17.8%		
インク	9,747	31.4%	10,899	31.2%	5,215	5,684	1,152	11.8%		
保守部品	1,881	6.0%	2,325	6.6%	1,126	1,199	443	23.6%		
その他	2,764	8.9%	2,099	6.0%	1,005	1,094	△664	Δ24.1%		
合 計	31,090	-	35,000	_	17,200	17,800	3,909	12.6%		

製品本体

新製品の拡販、プリントソリューションの提供、顧客密着型の 営業・サービス体制の強化により増加を見込む

インク

• 製品本体の売上増加に伴い、それに付随するインク売上も増加を見込む

エリア別売上高予禁

10.0%

0.0%

欧州

北米

日本

9.859

39期(14/3)

通期予想

5.000

0

9.452

38期(13/3)

実績



前年度から継続している穏やかな景気回復傾向で堅調に増加

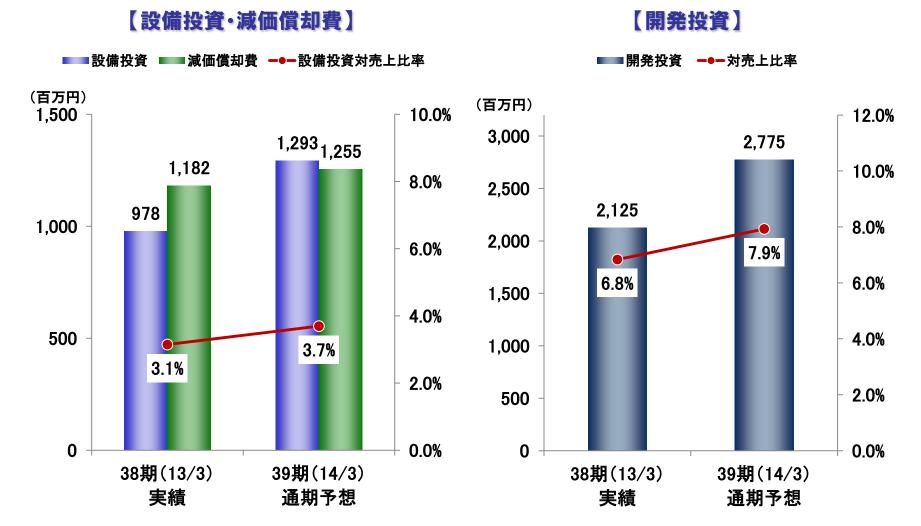
欧州

緊縮財政などによる景気低迷が予想されるが緩やかに増加

アジア、その他

先進国を上回る成長で推移するものと予想

設備投資、減価償却、開発投資予想



※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれており、 販管費における「研究開発費」は、38期894百万円、39期 1,471百万円です。



- ❖2013年3月期連結業績
- ❖2014年3月期連結業績予想
- ◇中長期戦略
- ⇔ご参考資料

1

独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「開発型企業」を目指します。

2

顧客に満足いただける製品を素早く提供する小回りの 利いた会社を目指します。

3

市場に常に「新しさと違い」を提供するイノベーターを目指します。

4

各人が持っている個性・能力を力一杯発揮できる企業 風土を目指します。

中長期経営戦略

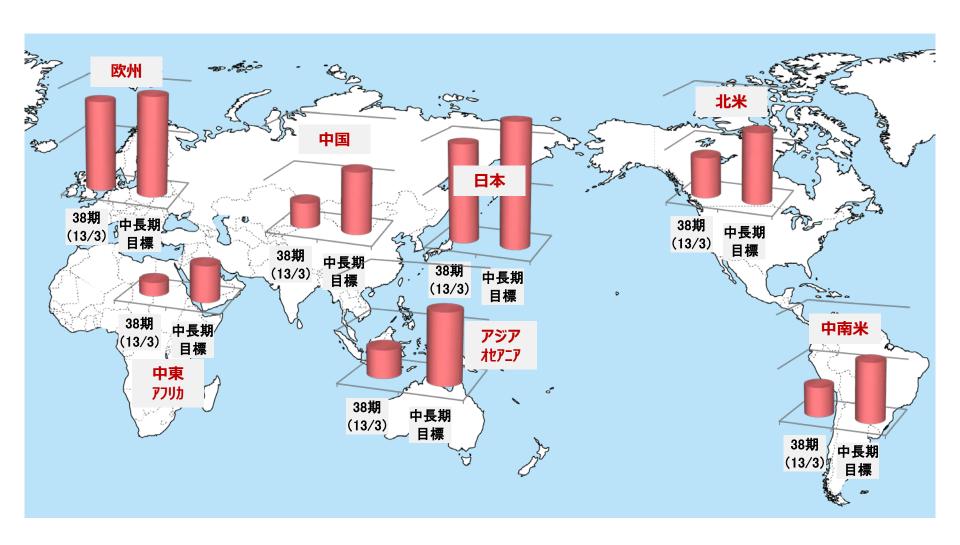
- 売上額500億円を達成するための"M500プロジェクト" スタート
 - ≻IP、TAの売上比率を高め経営の安定化を図る
 - ▶成長の見込める国に販売子会社を新設
 - ▶顧客密着型営業をグローバル展開
- 開発体制の強化
 - ≫将来の強みとなる要素技術開発を担当する専任部門を設立
 - >製品の開発プロジェクト(縦軸)組織を強化

中長期経営戦略

- ■生産体制の強化
- ■原価率低減の推進
 - >製品原価率を毎年2ポイント以上低減
 - > 為替状況に対応し購買ルートを選択
- 品質管理の徹底
 - ➤製品リリース直後の初期流動管理を強化し、品質目標を 早期達成



エリア別 中長期成長展望





開発戦略:プラットフォーム設計

プラットフォーム化 ⇒ プリントユニットを複数機種で共通化 専用部分 ⇒ メディア、インクに合わせて個別に設計

プラットフォーム設計のメリット

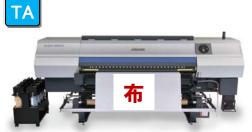
- †開発コストの削減
- †開発サイクルの短期化
- ↑品質の向上





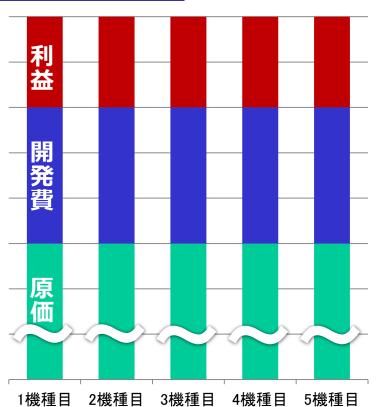




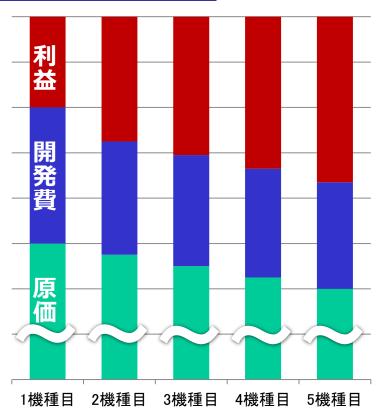


プラットフォーム設計の効果

従来の開発設計



プラットフォーム設計



※説明のためのイメージです。

プラットフォーム設計では、機種を重ねるごとに

• 開発費ダウン :プラットフォームは1機種目で完成

• 原材料費ダウン :共通部品の大量発注によるスケールメリット



収益性

向上

市場別 事業戦略



SG市場向け 重点施策

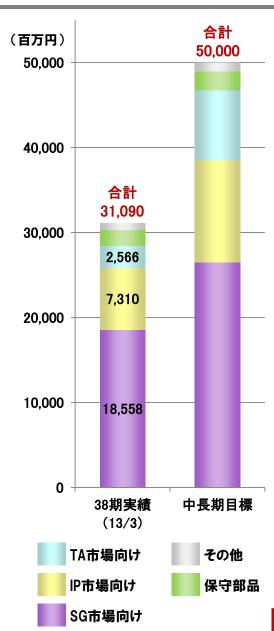
- 買い替えニーズの取り込み
- 地域販社と連携し、地域密着の"ミニ展"戦略の展開
- 販売サービス拠点を新興国に増やし自社の顧客を増やす

IP市場向け 重点施策

- ・ 着実にデジタル化しているものづくり市場に対して、本体・インクの品揃えを強化し、多用なニーズに対応
- 無人運転可能な自動化システムの提案による生産性の底上げ(小ロット生産→中ロットまで可能な生産機へ)

<u>TA市場向け 重点施策</u>

- 消費地に近いエリアへのデジタル捺染システムの提案強化
- インク販売を中心としたアフターマーケットビジネスの拡大
- 前後処理等のノウハウを蓄積し、主要エリアへ水平展開





ニッチ市場のニーズを製品化

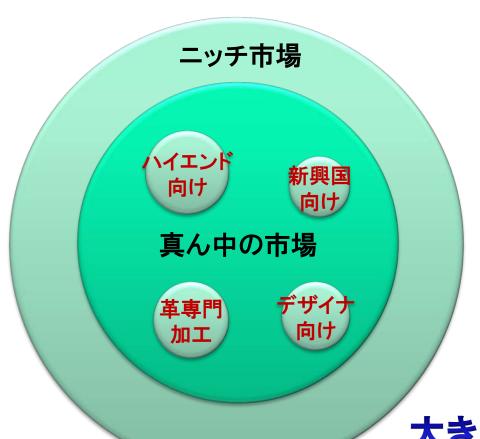
- 顧客ニーズを捉えて、フットワーク良く製品化。
- 企業規模が小さければ、クリーンヒットを当て易い。 会社が小さいことは強みになる。 ⇒ 発想の転換
- 身の丈に合ったニッチ市場には、ネタはいくらでもある。
- ニッチ市場は価格競争に陥らない。
- ニッチ市場に顧客を創る。 ⇒ ニッチでトップ
- ニッチの粒を集めてぶどうの房のような事業形態



ニッチ企業の強みは

顧客ニーズにフィットした製品を素早く作り出す力そのもの

二ツチ市場戦略



真ん中の市場にターゲット 層を絞って獲得するニッチ 市場

ニッチとは市場ターゲット を絞り狙うこと。



大きな市場の中に高付加価値ニッチ市場を創生する



- ❖2013年3月期連結業績
- ❖2014年3月期連結業績予想
- ⇔中長期戦略
- ☆ご参考資料



とうみし

長野県東御市

プロフィール

商号

株式会社ミマキエンジニアリング

設 立

1975年8月

資本金

2,015百万円

上 場

2007年3月 大阪証券取引所JASDAQ市場

本 社

長野県東御市滋野乙2182-3

代 表 者

代表取締役会長 池田 明代表取締役社長 小林 久之

従業員数

連結:1,065名 単体:571名 *2013年3月末現在

グループ会社

·販売関連:7社

MIMAKI USA,INC. . MIMAKI EUROPE B.V. .

Mimaki-nbn GmbH、上海御牧貿易有限公司、

MIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTAÇÃO LTDA .

MIMAKI KANPHOR INDIA PRIVATE LIMITED , PT. MIMAKI INDONESIA

・開発、製造関連:5社

(株)ミマキプレシジョン、(株)ウィズテック、台湾御牧股份有限公司、御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司、平湖御牧貿易有限公司

・プリントサービス関連:1社 (株)グラフィッククリエーション



ミマキグループのグローバル展開

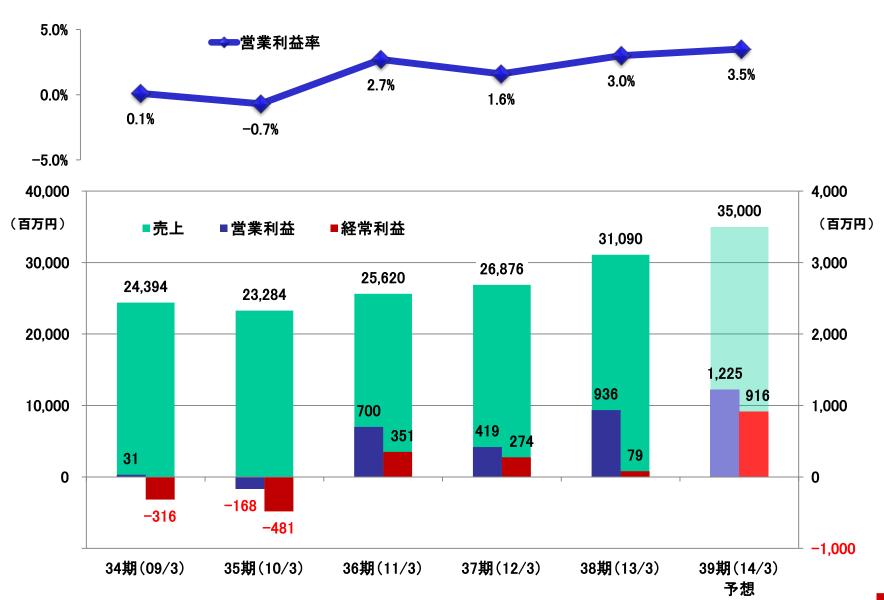
【従業員数】日本国内:630名 海外:435名 合計:1,065名

(2013年3月31日現在)





過年度業績推移(34期~39期)





ソリューション提案の実例

■ MAL (Mimaki Application Lab.)

当社製品のユーザーだけでなく、他社製品ユーザーでも参加いただけるワークショップ。

デジタルプリントの新技術や新機能 インクでどのようなアプリケーション (活用)が実現できるのかを、実演を 通じてご紹介。



▶ プロによる壁紙施工実演の様子(2013年4月開催)



▶ 参考URL:

http://www.mimaki.co.jp/news/event/entry-150079.html

■ Mimaki Plus

当社製品による成果物に一手間加工をプラスすることで生み出される新たな付加価値を、当社Webサイトでご紹介。

・デジタル蒔絵



・ドーミング加工



etc

▶ 参考URL:

http://www.mimaki.co.jp/special/mimaki_plus/



本資料に関するお問合せ先

株式会社 ミマキエンジニアリング IR 部

TEL 0268 (64) 2281 E-mail mimaki-ir@mimaki.jp

[本資料お取扱い上のご注意]

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社へ の投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。